

DiSC モデル
DiSC® Classic 2.0

DiSC Classic は人間の行動の4つのスタイル、つまりD(主導)、i(感化)、S(安定)、C(慎重)の各スタイルを描き出す4象限の座標軸モデルに基づいて作られています。人によっては1つのスタイル、また他の人は2つ、ときには3つのスタイルを強く備えています。

では、あなたのDiSCスタイルは他の人たちのスタイルとどのように異なっているのか、あるいは共通しているのでしょうか？ このDiSCモデルはこれらの重要な質問に答えてくれます。次に示される4つの象限では、隣り同士の象限には共通点が発見されます。たとえばCとSのスタイルには、自分自身をその取り巻く環境より弱い存在と認識する傾向が見られます。ということは、自分が環境に対して直接的な影響を及ぼす事ができないと考えることから、自分自身を環境に適応させる傾向が強いのです。逆にDとiのスタイルでは、自分を環境よりも強い存在だと認識する傾向が見られます。ということは、自分が環境をコントロールしていると感じることから、自分自身に確信を抱いていることを意味します。さらにDとCのスタイルを見ると、彼らは取り巻く環境を好ましくないもの（非好意的で抵抗を感じるもの）と認識しており、逆にiとSのスタイルは環境を好ましいもの（友好的で支援的）と見えています。



次の図で、DiSCモデルを詳しく説明しています。つまり、4つのスタイルを、行動の言語で客観的に解説しています。ここで、CとSスタイルは思慮深く、ゆっくりとことを進めるのに対して、Dとiスタイルは活発で、迅速にことを進めることが理解できます。さらに、DとCスタイルはつねに質問をし、論理を追求するのに対し、iとSスタイルはものごとを許容し、他の人たちに关心を寄せます。

